



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 天馬株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 藤野 兼人  
 (コード：7958、東証第一部)  
 問合せ先 執行役員財務経理部長 須藤 隆志  
 (TEL. 03-3598-5515)

## 平成31年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月11日に公表しました平成31年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、通期業績予想を修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

### 1. 平成31年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	40,000	1,000	1,200	1,000	41 円 44 銭
実績値(B)	40,266	512	816	467	19 円 36 銭
増減額(B-A)	266	△ 488	△ 384	△ 533	
増減率(%)	0.7	△ 48.8	△ 32.0	△ 53.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	37,190	1,157	1,718	1,300	53 円 89 銭

### 2. 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	82,800	3,000	3,100	2,600	107 円 75 銭
今回修正予想(B)	82,800	2,100	2,600	2,000	82 円 89 銭
増減額(B-A)	0	△ 900	△ 500	△ 600	
増減率(%)	0.0	△ 30.0	△ 16.1	△ 23.1	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	77,485	2,070	2,818	1,995	82 円 67 銭

### 3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては概ね順調に推移しました。一方、利益面につきましては、中国から東南アジアへの生産シフトが加速するなか、中国での営業利益が減少しましたが、東南アジアにおいて旺盛な需要を捉えることにより海外子会社全体では順調に推移しました。しかしながら、原油価格の高騰に伴い、日本における営業利益が原材料及び資材価格の上昇、物流コストの増加等により減少し、業績予想を下回る結果となりました。

また、通期の業績予想につきましても、売上高は堅調に推移する見込みですが、利益面につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績及び今後の見通しを踏まえ、上記の通り修正いたします。

なお、配当予想の修正はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上